

《小袖海女センター 杭基礎工事》

～「北限の海女」たちの活動拠点の復活～

要 旨

平成26年5月～6月、東日本大震災による津波にて全壊した海女センターを再建するため、弊社にて全周回転オールケーシング工法を用い、杭基礎の施工を行いました。

旧海女センターは、震災の半年ほど前に改装されたばかりでしたが、津波により施設が流されてしまいました。今回再建された海女センターは、前回と同じ程度の津波であれば、避難タワーとしても利用できる施設となり、平成26年12月に完成しました。

1. 工事概要

工事件名：小袖海女センター改築主体工事
 施工場所：岩手県久慈市宇部町
 主要用途：複合施設
 構造規模：RC造，地上3階

2. 杭工事概要 【杭仕様】

杭径	掘削長	杭実長	基数
φ 1.0m	6.65～7.65m	5.0～6.0m	6 基
φ 1.2m	7.65m	6.0m	4 基

【品質管理】

支持層が硬質な岩盤であり、杭実長は5～6mと短い杭であったため、全周回転機の設置時は水平器で確実に水平を確保できるよう心がけました。また掘削時は支持層出現深度において、無理な掘削を避け、慎重にケーシングを建込み、支持層の確認および根入れを確保し、杭の品質を管理しました。

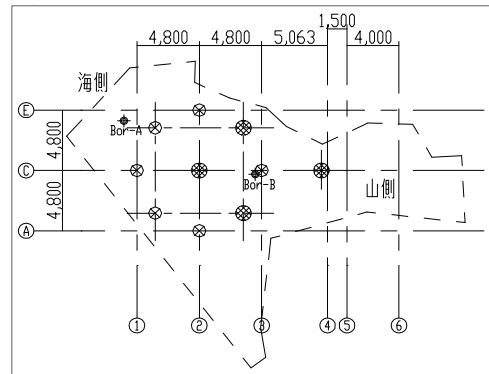
3. 担当者コメント

本現場は、支持層が硬質な岩盤(近隣ボーリングでは換算N値100以上)であり、杭長も短いため、掘削は焦らずに時間をかけて行い、鉛直性を確保することを心がけました。また、搬入路が非常に狭く、資機材の搬出入時は第三者災害が起こらないよう細心の注意を払いました。無事に工事が終わり、再建された海女センターに、今度はプライベートで行く日を楽しみにしています。



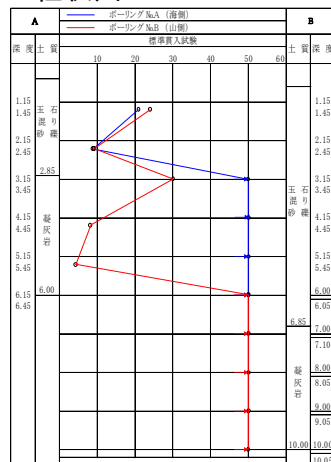
渡邊現場担当

■敷地



4. 柱状図・敷地・写真

■柱状図



■写真

○施工前



○完成後



5. まとめ

本現場は沿岸部のため、施工が難しい地域でしたが、営業・工事他担当社員一同、旧施設より一層良い施設ができることを祈り、施工に携わってまいりました。今後も地元根付いた会社であるとの信念のもと、震災復興および社会貢献できるよう精進してまいります。